



# 高い技術と 開発力でものづくりの未来を拓く

ものづくり王国・日本の屋台骨を支えてきた金属加工業。グローバル化の波のなか多くの企業が厳しい経営環境に置かれているが、技術力・開発力・人間力の3本柱で内外のメーカーから信頼を得ているのが株式会社小林精機。自身の『弱点』を認識し、さまざまな企業や研究機関と連携して挑戦を続ける姿勢で自社の未来を拓いてきた。

## さまざまな協力者との出会いで 自身の“弱み”を克服してきた

戦後日本の復興を支えてきた製造業の中でも、その高い技術力と品質の良さで世界からも注目を浴びるのが金属加工である。

現在は滝沢村大釜に本社工場を置く株式会社小林精機も、戦後の昭和28年に旋盤加工を得意とする町工場として盛岡市志家町で創業し、昭和33年に同市山王町に移転。昭和52年に有限会社に改組し、平成元年にはそれまでと比べ10倍の広さの土地を滝沢村大崎に取得・移転と、規模を拡大してきた。

昭和53年に経営を引き継いだ現社長の小林清之さんは「自分の“弱み”を補って

れる仲間と従業員に恵まれた」と、これまでの歩みを振り返る。若干27歳での事業継承、そしてオイルショック後の受注数激減などの難しい局面も、人との出会いで乗り越えてきたからだ。なかでも昭和63年、異業種5社（現在6社）で発足した「テクニア岩手協同組合」の活動は大きな転機に。同組合は研究開発を目的に誕生した異業種協同体であり、産学官連携や海外工場の建設に取り組む企業も参画していた。この活動をきっかけに、同社にもメカトロニクス研究開発事業「Z Project」が発足、岩手県工業技術センターとの共同研究が始まった。

営業力とは何か、魅力ある会社を作るためにすべきことは…。活動で気づいた『弱点』が、開発力の強化に結実したといえる。

## 生産管理システムもオリジナル 技術力のさらなる強化もテーマ

平成に入ると、小林精機の活動はさらに展開していく。平成4年「Z Project」による無人加工セルシステムの開発に成功。社内にも正式なプロジェクトチームも発足し、その後は岩手大学などとの産学官共同開発研究事業へ繋がっていく。一方の生産部門も受注が右肩上がりを持っていた。

だが順風満帆に見えたさなか、小林社長は顧客からのクレームという形で再度『弱点』と向き合うことになる。好調な生産現場に対し、材料手配から生産個数、工程そして納期などの生産管理がおろそかになっていたことに気づいたのである。そこで同社では工業技術センターの指導の元で自社オリジナルの生産管理システムを開発。担当者の行方学さんは社内業務の流れを調査、部署ごとの調整を図りながら

プログラムを構築した。これにより試作から量産まで月約6000点にも及ぶ部品管理と、短納期・高品質の両立が実現したのである。

半世紀に亘る事業で磨かれた同社の技術力は、バルブ関連部品や医療分析装置、化学分析装置部品など多岐に渡る生産品目を可能にした。その上で「オンリーワンの技術を作り出していきたい」と展望を描く小林社長は、難削材の加工技術を高める研究開発のため社内に新たなプロジェクトチームを設置、チャレンジを続けている。当いわて産業振興センターも、設備貸与をはじめ受発注のあっせんによる支援を続けてきた。「センターのあっせん事業は東北の先駆け」と、小林社長も効果を実感している。

今年5月、小林精機は滝沢村大釜に本社と工場を移転。3倍の広さとなった敷地の一面には社員の福利厚生施設も誕生した。技術力と開発力。それを支える人間力を結集し、小林精機の新しい世紀は始まっている。

- ①②③ 複合加工機やマシニングセンターなど多彩な設備を整え、あらゆるニーズに対応できる体制。一方では昔から使っていた汎用旋盤で、若手にもつくりを継承する「里山づくり」にも取り組んでいる。
- ④⑤ 機械加工の技能検定の有資格者も多数おり、最新設備の機能を最大限に活用。
- ⑥ 厳正な検査体制をひく品質保証部門。
- ⑦ 企画情報室の室長であり、生産管理システムの構築も手がけた行方学さん。
- ⑧ 滝沢村のリサーチパークでこの5月から本格的な操業がスタートした本社工場。
- ⑨⑩ 工場と直結する福利厚生棟。1階はホール、2階には休憩室とゲストルーム。

我が社の  
力こぶ  
はコレ!

職場環境づくりを通し、  
人材が育っています

安心して働ける環境づくりは会社の役目。日々いい変化が起こる職場で働くことは社員にとって何よりの喜びです。そんな環境を提供することで人材が育っており、取り組んできたことも社内にどんどん還元されていることを実感しています。

小林清之  
代表取締役



会社名 株式会社小林精機  
所在地 岩手郡滝沢村大釜宇風林3-21  
所在地 019-686-1166  
代表者 小林 清之  
創業 昭和28年  
従業員 97名  
業種 各種精密機械部品の加工及び組立、自動化・省力化機器の設計製作、コンピュータソフト開発



【支援企業紹介】滝沢村  
株式会社小林精機

